



ごあいさつ

日本野鳥の会ふくしま 代表 白岩 康夫

この冬は記録的な大雪に見舞われましたが、花の季節は例年通りまちがいなくめぐってきました。

今、福島県は放射能被害に悩まされていますが、昔のような清く美しい自然はかならず戻ってくるものと信じています。

私ども「日本野鳥の会ふくしま」は4月1日から福島市小鳥の森の指定管理者として指定されました。大変光栄なことと同時に責任の重さを感じております。今まで、公益財団法人日本野鳥の会が管理していたものを引き継いだのです。

思えば29年前、小鳥の森の開園にあたって、私どもの前身である日本野鳥の会福島県支部福島方部はボランティアとして観察路の整備に協力しました。シジウカラの小径、カワセミの小径など、一つひとつに思い出が残っています。

地元の管理者として地域に密着した、きめ細かな運営をしていく所存です、どうぞよろしく願いいたします。



小鳥の森で観察してみよう 12

メジロ

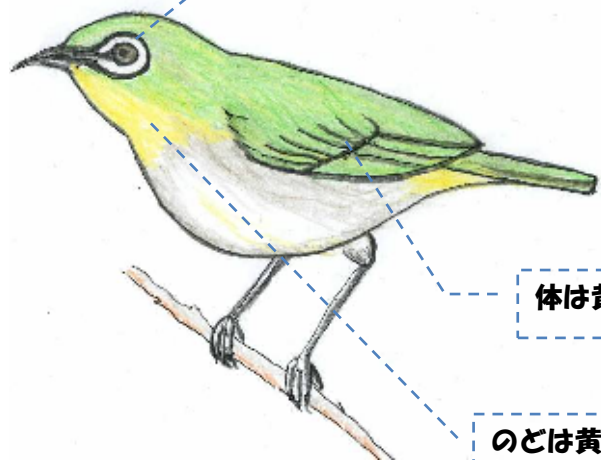
分類：メジロ科

大きさ：体長 11.5cm

生態：日本全国に分布するが北海道では夏鳥。
昆虫やクモのほかに、果実や花の蜜などを食べる。

小鳥の森での観察：

小鳥の森ではネイチャーセンターのリンゴをよく食べに来ている。これからの季節はサクラの花の蜜をなめに来る姿がよく見られる。



目のまわりが白色

体は黄緑色

のどは黄色

今回のイラストはレンジャーが描きました。

小鳥の森ボランティアガイド養成講座終了

3月3日に小鳥の森ボランティアガイド養成講座を行い、2名の新しいボランティアガイドが誕生しました。

小鳥の森ボランティアガイドは約1年間をかけて、野鳥や植物、昆虫、里山管理などを学び認定されます。

認定されると、モニタリング1000調査や出前授業などを行うことができるようになります。

今年度も引き続き養成講座を開催いたしますので、興味のある方はぜひ、ネイチャーセンターまでお問い合わせください。



里山文化体験講座を 開催します！

今年度より新たに、大人の方を対象とした『里山文化体験講座』が開催されます。持続可能な里山の文化を継承するために、楽しみながらきれいな作品や、お土産を作ります。興味のある方はぜひご参加ください。

4月～8月までの予定

4月18日「味噌づくり」 参加費 2500円
6月20日「一貫張り」 参加費 1000円
8月29日「草木染め」 参加費 1000円

*事前に申し込みが必要となります。
お申込みはネイチャーセンターまでご連絡ください。



レンジャーだより(いがらしレンジャーより)

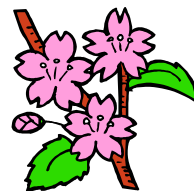
サクラの花を見てみよう！

みなさんは「お花見」は好きですか？サクラの花がたくさん咲いた中でお弁当を食べるととても美味しく感じますね。

サクラの花をながめているとメジロやヒヨドリなどの野鳥がよくやってきます。彼らはサクラの花に顔を突っ込んでペロペロと大好物の蜜をなめています。よく見ると顔の周りには花粉がたくさんついていることがあります。実はサクラにとっても、彼らは花粉を運んでくれるためにとても大切な存在なのです。

このような関係が自然の中にはたくさんあり、色々な生き物たちが繋がって生活しています。

サクラの花に集まる生き物も観察してみましょう。



*** 福島市小鳥の森では色々なイベントを開催しています。
詳しくはネイチャーセンターまでお問い合わせください。**

福島市小鳥の森(ネイチャーセンター) 開館時間：午前8時30分～午後5時
《入場無料》 休館日：毎週月曜日(祝祭日の時はその翌日)

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel: 024-531-8411 fax: 024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/> ←アドレスが変更になりました

小鳥の森通信[しじゅうから] 2012年4月No.322/企画・発行：福島市小鳥の森/日本野鳥の会ふくしま